

2024年度沖縄平和行進参加報告書

関東地本東京支部

河村 法和

2024年5月17日から20日に渡り沖縄平和行進へ初めて参加させて頂きました。既に青年部とは程遠い年代になっており身体・精神面において耐えられるかは心配しながらの参加でありました。しかしながら、今沖縄では国内で約7割の米軍基地が集中し「南西シフト」と呼ばれる自衛隊の配備強化も行われ、安保3文書から日米首脳会談のバイデン大統領の発言等日米一体の軍事要塞化が進み「新しい戦前」と言える状況が一気に本格化している中で、過去において非戦闘員を巻き込んだ沖縄戦からアメリカの統治下に置かれ、日本復帰後も米軍基地問題等日米安保保障の大きな役割を担い続けている現状を体感したい思いを持ち参加致しました。

三単産行進結団式・5.15平和行進・県民大会へ参加し、旧海軍豪・ひめゆり資料館・平和記念公園、嘉手納基地・辺野古新基地建設現場を視察致しました。3日間を通じ妨害等に屈せず行う行進は人の気持ちを揺るがす行為であること。基地がある事で平時でも墜落事故や軍関係者の犯罪等の危険を感じながら生活せざるを得ない現状。過去においての悲惨な状況の認識。現在進行形で行われている自然破壊の大きさ。を体感できました。又基地があることにより、沖縄は平時・有事を問わず平和に暮らしていけない事実を実感すると共に組織・個人として課題克服に向け出来ることの可能性を考える機会にもなりました。日本の労働組合運動は、労働組合解体が第2次世界大戦への道を開いた一因でもあり、平和の課題を重視するべき運動だと考えており、沖縄平和行進の体験は今後の全港湾としての組合活動の柱になると思いました。

又全ての面でお世話になりました沖縄地本の山口委員長を中心とする組織としての意識の高さも非常に勉強になりました。このような運動の機会を造って頂き有難うございました。